

講座  
19

# 歴史をひもとき、私たちの川崎を再発見しよう

【定員】70名 【受講料】2年会員13,430円 1年会員15,110円 聴講生20,130円（野外学習安全費用50円を含みます。）

【川崎学】歴史（川崎学） 【時間】毎回10時30分～12時00分（計12回）

概要

近年、私たちが生きてきた時代そのものが相対化され歴史として研究の対象となってきている。今私たち自身が歴史を作っているといえるだろう。そこで、この講座では、多様な人々が交差したこの川崎で人々はどのようにして、ここに集い、暮らしてきたのかを探ってみたいと考えている。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/12(土)	川崎市 生涯学習 プラザ	<b>川崎に生きた人々の痕跡を探る</b> 道・水路・石造物など日常生活に紛れている歴史の痕跡を再発見してみましょう	國學院大學栃木短期大学教授 菱沼 一憲
2	4/19(土)		<b>川崎に生きた縄文人の顔身体表現</b> 土偶・石棒など顔身体に関わる遺物から縄文の人々の身体に対する観念を考えます	国立歴史民俗博物館准教授 中村 耕作
3	4/26(土)		<b>先進文明をもたらした人々</b> 馬絹古墳や影向寺など古代の先進的技術を駆使し発展させた人々の足跡をたどります	専修大学教授 田中 禎昭
4	5/17(土)		<b>稲毛荘にみる中世荘園のなりたちと耕地開発</b> 摂関家領稲毛荘の内部構成と開発の様相について、史料を紐解きながら考えます	明治大学教授 高橋 一樹
5	5/24(土)	野外学習	<b>橋樹郡衙から古代道を歩く</b> 史跡橋樹官衙遺跡群・小高駅家、武蔵国府への古代道を辿り古代ロマンに触れてみましょう	國學院大學栃木短期大学准教授 中 大輔
6	5/31(土)	川崎市生涯 学習プラザ	<b>天保の飢饉と名主の救済活動</b> 都筑郡王禅寺村の志村家文書から名主弥五右衛門などによる救済活動を読み解きます	國學院大学教授 岩橋 清美
7	6/7(土)	野外学習	<b>川崎民話の世界を歩く</b> 時代を超えて語り継がれてきた民話、その世界をたどり庶民生活の歴史と人々の暮らしを振り返ります	かわさき民話を愛する会・会長 萩坂 心一
8	6/14(土)	川崎市 生涯学習 プラザ	<b>戦争を語り継ぐ人々</b> 軍の秘密機関登戸研究所と軍需工場、秘匿されたその実態がいかに暴かれ語り継がれたのか考えます	登戸研究所保存の会事務局長 森田 忠正
9	7/5(土)		<b>命を守った人々</b> 関東大震災での朝鮮人虐殺からの救済、子供らへのポリオワクチン接種推進など、川崎での活動を探ります	京浜歴史科学研究会会員 大湖 賢一
10	7/19(土)		<b>海を渡ってきた人々</b> 沖縄から川崎へ多くのウチナンチューが来ましたが、その理由と影響を多文化共生の観点から捉えなおします	元明治大学講師 渡辺 賢二
11	8/2(土)		<b>新しい文化を創造する人々</b> 岡本太郎・藤子F不二雄そしてレイキン、新しい文化を創造する川崎の活力を考えます	川崎地域史研究会 川崎 晶子
12	8/9(土)		<b>21世紀に生きる人々</b> アンケートをもとに私たちが生きてきた時代を振り返り、歴史的視点からこれからの川崎について考える	法政大学第二中・高等学校育友会 教育研究所前所長 大庭乾一

連絡  
事項

初回(4/12)はコーディネーターの先生の話と事務連絡があります。10時までにお集まりください。